



鹿児島県西之表市

市シンボルマーク

〒891-3193

鹿児島県西之表市西之表7612番地

担当課:福祉事務所 社会福祉係

電話0997-22-1111(内線321)

FAX 0997-22-0295

e-mail syakai@city.nishinoomote.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 205.78km² (平24.10.1)

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.9.30住基
32,645	18,866	18,198	16,951	16,777
65歳以上人口比率(22国調)				31.0%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.5.31住基
6,907	7,847	7,786	7,954	8,239

(4)沿革

明治22年に北種子村、大正15年に西之表町、昭和33年10月に西之表市へと変遷を続け、平成20年には市制施行から50周年を迎えました。

(5)産業構造

区分	就業人口 17国調	就業人口 22国調
1次	2,556人 27.7%	2,437人 28.2%
2次	1,389人 15.0%	1,046人 12.1%
3次	5,293人 57.3%	5,112人 59.1%
計	9,240人	8,648人

* 計には、分類不能を含む

本市の概要

【位置・面積】

種子島は九州本土最南端の佐多岬から南東方向約40km、鹿児島市から約115kmの海上にあります。島の面積は、453.83km²で日本の有人離島の中では5番目に大きな島です。

鹿児島～種子島間は、一日7便の高速船が運航しており、約90分で行き来ができます。

西之表市は島の北部に位置し、南北の長さは25.2km、東西の幅は8.2kmです。面積は205.78km²(うち馬毛島8.2km²)となっています。

【産業、歴史等】

種子島は、鉄砲伝来の歴史と、時代の先端を行く宇宙科学が交錯し、風光明媚な自然、人情味溢れる人柄が自慢の島です。さらに、豊かな海と大地で育まれた農林水産物等の多彩な素材も大きな魅力となっています。

主な産業は第1次産業であり、就業人口の構成比は約3割を占めています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成23年の鹿児島県内の自殺者数は411人、人口10万人あたりの自殺者数を示す自殺死亡率は24.3で、全国で13番目に高く全国平均(22.9)を1.4ポイント上回っています。

種子島地区の自殺者数は平成22年が14名、平成23年には7名に減少していますが、自殺死亡率は県内でも高い状況にあり、特に中種子町、西之表市の男性の自殺死亡率が県内2位、3位というように、県内でも自殺死亡率の高い地域といえます。

このような状況のなか、自殺予防に関する普及啓発、人材育成、相談窓口の充実・強化を図るため、関係機関や団体と連携、協力し地域全体での支援体制の構築を目指しています。

<具体的な取組み>

1. 関係機関との連携

・平成22年7月～、熊毛支庁保健福祉環境部(県の出先機関)が主催する「種子島地区自殺対策連絡調整会議」に参加。

種子島1市2町の関係機関、団体の実務担当者レベルで構成し、自殺対策に関連する取組等の情報共有を行うとともに、連携・協力体制を構築し、具体的かつ効果的な自殺対策関連施策を推進している。

年1～2回の定例会を開催するほか、9月の自殺予防週間に、街頭キャンペーン(リーフレット、グッズの配布)を行う。

[参加機関]

病院、消防、商工会、ハローワーク、司法書士会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、教育事務所、市町・県等の行政機関(福祉、保健関連部署)

2. 相談体制

・市役所内では、福祉事務所、保健センター、市民相談室、包括支援センター等に相談窓口を設置。必要に応じて関係部署と連携し対応するほか、医療機関や法律事務所等、専門機関へのつなぎの役割を果たしている。

- ・各相談窓口では電話や訪問による相談を随時実施。
- ・臨床心理士による相談会を月1回程度開催。

3. 広報啓発活動

[平成23年度]

- ・自殺予防週間の広報紙への掲載
- ・市民健康づくり事業(ヘルスアップ教室)において、「こころの健康づくり」ミニ講座を開催
- ・女性向けのメンタルヘルス講演会を開催
- ・民生委員向けのゲートキーパー研修を実施

[平成24年度]

- ・自殺予防週間の広報紙への掲載
- ・「アルコール依存症」をテーマにした民生委員及び関係機関職員向けの研修を実施
- ・「睡眠」をテーマにした市民向け講演会を開催
- ・上記講演会に合わせて、包括相談会「心とくらしの相談会」を開催

4. 人材養成

- ・国・県の実施する自殺対策企画研修に職員を派遣し、ゲートキーパーとなりうる人材養成を図る。